

開館後の状況について

1. 入館者数（開館日数）

月	開館日数	入館者数	1日平均	備考
3月	8日間	9,823人	1,227人	開会式、桜まつり
4月	26日間	13,421人	516人	桜まつり
5月	27日間	9,227人	341人	企画展終了（～5/19）
6月	26日間	3,827人	147人	
合計	87日間	36,298人	417人	

4月 2日（開館9日目） 1万人達成

4月18日（開館23日目） 2万人達成

5月19日（開館51日目） 3万人達成

2. 企画展開催事業

年に4回企画展を開催し、刈谷やその周辺の地域の歴史に関して学ぶ機会や、遠方の歴史資料を借用公開することでさまざまな歴史資料に触れる機会を市民に提供。

(1) 初代刈谷藩主 水野勝成展～「鬼日向」のいくさとまちづくり～

ア 会期 平成31年3月24日（日）～5月19日（日） 51日間

※3月25日（月）、4月30日（火）臨時開館

イ 観覧料 無料 ※開館記念展として開催のため。

ウ 入場者数 20,151人（1日平均約395人）（入退室カウンター数値による）

エ 図録 単価 800円

販売 840冊（3月24日～5月19日）

※現在、通信販売中。

オ 印刷物

B2ポスター 1,000枚

A4チラシ 53,000枚

図録（A4変型） 2,500冊

展示リスト（A4）30,000枚

カ 開催イベント

	名称	日時	内容
記念講演会	「水野勝成を巡る人間模様」	3月24日(日) 午後1時30分～	講師:水野勝之氏(水野宗家20代当主) 聴講230名
	「私の歴史、文化活動」	5月4日(土・祝) 午後2時～	講師:水野勝之氏 聴講136名
関連講演会	「水野氏と城下町」	3月30日(土) 午後1時30分～	講師:山村亜希氏(京都大学准教授) 聴講130名
	「徳川家康と刈谷水野氏」	5月12日(日) 午後2時～	講師:藤井譲治氏(石川県立歴史博物館長) 聴講150名
福山デー (5月5日(日・祝))	福山城博物館学芸員による特別講座・ギャラリートーク	午後1時30分～	講師:皿海弘樹氏(福山城博物館学芸員) 聴講75名
	喜多流大島能楽堂による出張公演	午前11時～ 午後1時～	講師:大島衣恵氏(能楽シテ方喜多流) 聴講2回計112名
	備後絃製作実演	午前10時、11時、 午後2時	糸車の体験を含む 協力:備後かすり学習会
	「八朔の馬出し」展示	4月28日(日)～5月5日(日・祝)	鞆の浦で開催されている「八朔の馬出し」で使用された馬の展示
	福山市PRブースの出展	午前10時～午後3時	チラシ配布、ばらグッズ等の販売、 当日の来館者数841名
その他関連イベント	戦国講談	4月13日(土) 午後2時～	出演:旭堂鱗林氏(講談師) 聴講95名
	水野勝成関連武将画コーナー	4月23日(火)～ 5月3日(金・祝)	「水野勝成伝～“鬼日向”とサムライたち」 場所:講座室 見学者計2,835名
	展示説明会	4月6日(土) 午後2時～	講師:長澤(当館学芸員) 聴講50名
	ギャラリートーク	4月14日(日) 4月29日(月・祝) 5月3日(金・祝) 5月18日(土) 午前11時～	講師:4月29日は五十嵐(当館学芸員) その他は長澤 聴講計68名

3. 市史資料整理活用事業

文化財・博物館活動のもととなる文書史料や歴史資料の調査・収集・整理・保存を実施。具体的には、市内外に存在する資料の調査や、寄贈資料・収集未整理資料の目録作成、収蔵品検品（収蔵品の保存状況把握）等。

- 例) 今岡神明社所蔵棟札、土井家家紋入甲冑の調査
- 月僊画「三国志武将図」等の受入
- 小垣江神明社所蔵品調査

4. 来館者アンケートの実施

来館者に向けてアンケートを実施。

期間（平成31年3月24日～令和元年5月31日）

詳細別紙1参照。

(1)年齢層

各年代あまり偏りが見られない。

(2)居住地

「市内」が約半分、「愛知県内」が約40%で、来館者の約9割が「愛知県内」である。県外では、東京都や大阪府が多かった。

(3)同行者

「一人」と「家族」が約40%であった。

(4)来観回数

開館直後であるので、「初めて」がほとんどであるが、「2～4回」も10%いた。

(5)来館目的

「常設展示」、「企画展示」が約30%を占めた一方で、「観光目的」は4%と低かった。

(6)情報取得元

「市民だより」や「ポスター・チラシ」が約30%を占める一方、「知人から」や「SNS」は少なかった。

(7)興味をひかれたコーナー

「歴史ひろば」や「企画展示室」が約30%、「お祭りひろば」が約20%を占めた。

(8)展示内容・方法の評価

「とてもよい」と「よい」を合わせて約80%あった。

5. 関連グッズ売上

当館開催の展覧会図録や刈谷市史、DVD刈谷偉人伝、発掘成果報告書、歴史関連カプセルトイ等を販売し、調査・研究成果を広く普及・啓発。

売上等詳細は別紙2参照。

6. 参加・体験型歴史文化教育普及事業

郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育むため、市民が歴史文化について学ぶ機会を創出。

(1) 歴史文化体験講座の開催

毎月第4日曜日に開催。

5月 姫きものをつくろう！ 午前・午後各15名

6月 はじめての水墨画体験 午前15名 午後12名

(2) 簡単工作づくりの開催

勾玉づくり（1回100円、土日祝のみ、学校休み期間中は毎日）、ブラバンキーホルダー（1回50円、学校休み期間中のみ）、かきつばた折紙（無料）

(3) 市内中学校1年生向けの歴史博物館見学

5月下旬～6月上旬にかけて実施。市内全6校の中学1年生総計 約1,400名。

(4) 甲冑試着体験

令和元年5月3日開催。51名参加。

(5) ミュージアムシアターの上映

講座室にて、刈谷に関係のある人物や事柄についての映像を放映。

例) 水野勝成、小堤西池のカキツバタ、於大の方、天誅組など

(6) 国際博物館の日記念イベント「缶バッチづくり」実施概要

令和元年5月18日(土)

企画展の内容に関係する問題を掲示し、その問題に答えられた人に「刈谷市歴史博物館限定缶バッチ」を作成。

258名参加。

(7) 出前講座

教育委員会生涯学習課を通して依頼。学芸員が刈谷の歴史のテーマに沿って、依頼元で講座を行う。

今年度6月末までに1件（住吉小学校6年生）実施。